



にじいろ通信 No.44

発行：社会福祉法人健翔会 にじいろ
所在：埼玉県行田市忍 1-11-1
TEL：048-598-5252 FAX：048-501-6031
責任者：にじいろ管理者 齋藤真知子
MAIL：niji-iro@kenshokai.net

「にじいろ」は児童福祉法により、通学している障害児に対し放課後等に日中活動を提供する健翔会の第3号事業所です。

子どもの様子を見て、成長をしみじみ感じる今日この頃。すっかり秋ですね。

5月より未就学児童に対する「児童発達支援」を始めました。利用児童募集中です!!

「自己主張も大切です」

児童発達支援管理責任者 齋藤 真知子

今日も子ども達の「ただいま～」の声でにじいろがスタートとします。職員は安心と元気ももらっています。にじいろは新しいお友達も増えてにぎやかになりました。お友達が増えた分大人との関わりが多かった児童も、お友達同士で遊んだり、関わり合うことが増えてきました。お友達同士の対等な関係は面白く、お互いに主張をし過ぎればケンカになることを知っているように、塩梅を見ておもちゃを貸してあげられることもあります。相手の気持ちや自分の気持ちを調整することはとても難しいと思いますが、関わり合ううちに、このお友達と遊ぶことが楽しい、一緒にいたい、という気持ちから自己抑制をして関わろうとします。



9/22 にじいろスポーツレクリエーション大会を行いました。ご家族で参加していただき、4つの競技を楽しみました。コゼちゃんも応援に来てくれて、子ども達は大喜びでした。



9/21 ハロウィンに向けてモビール製作を行いました。好きな色の絵の具と洗濯のりを混ぜて指で伸ばして、塗っていきます。初めはちょっと変な感じがしたけれど、手で塗ることが楽しくなりました。



10/2 にじいろクラブの飯ごう炊さんの練習をしました。火起こし作業は楽しくて夢になります。火加減も上手に出来て、美味しいご飯が炊けました！本番が待ち遠しい♪

「今は遊ばない。」と断られてしまうことがあっても、「じゃあこっちで遊ぼう」と他の友達が声をかけてくれることもあり、お友達同士で解決に至ることも意外に多いです。

関わりが多くなることで自己主張することが多かった子ども達が、我慢し葛藤する場面も増えました。しかしこの葛藤は自己抑制と自己主張のバランスを保つための成長の一歩だと思えます。なので、職員は気持ちの調整が出来た時にはたくさん褒めますし、うまくいかなくてもそれぞれの思いを代弁したり、他の遊びを提案したりしながら関わり調整をしています。中には、お友達には興味がない様子の児童もいますが、うまく表せないだけかもしれません。当番やお手伝いなどで無理のない関わりを作るのもいいですね。行動と心の中が違うことが多い複雑な子どもたちをこれからもじっくり見ていきたいです。



デカパンに入って走ります。イチ・ニ!!いいぞーお母さんと足並みが揃っています。



キャタピラを動かして前に進みますが、お母さんの勢いで一回転しちゃったよ～笑



にじいろの玉入れは家族が背負ったカゴにボールを入れます。待て～ それ～

- ★11月のにじいろ 1日～農作業体験「サツマイモ収穫」 7日：にじいろクラブ第4弾「アウトドア体験」
- 13日：レクリエーション「足跡ゲーム」 14日：秋季イベント「リンゴ狩りに行こう」
- 23日：理科実験「片栗粉の不思議」28日：秋季イベント「焼き芋&ウォーキング」
- ★にじいろで欲しいもの トランポリン レゴブロック アイロンビーズ 跳び箱 バランスボール
- ★ありがとうございました 須加様：エプロン